長屋（陸別）菅原（足寄）両選手を世界へ

両町で激励会

日本を代表して世界選手権にいどむ郷土出身の高校女子スケート選手を迎えて陸別・足別の両町でそれぞれ相ついで激励会をひらきました。

☆

暮の二十日に軽井沢でひらいた全日本選抜スピードスケート競技会で、五百㍍で第一位四十三秒四の日本新記録を樹立して、二月十六、七日にオーストリアのインスブルックでひらく世界スプリント選手権大会に日本代表として出場する陸別町共栄の長屋真紀子さん（釧路第一高校三年）を迎えた陸別町では、三日午後一時から町民リンクで「真紀子さんと滑べろう」と、釧路第一高校から加納等コーチに男子七選手も参加して模範、交歓スケート大会をひらき、午後三時すぎから商工会館で町民有志百余名による長屋選手の激励会を催しました。

激励会は体育連盟の宮古理事長の司会によってはじまり、渡辺会長からあいさつがあって、杉田町長、竹内議長、平林教育委員長の祝辞につづいて加納コーチと長屋一夫氏（父親）からあいさつがあって祝宴に入りました。

このあと金沢賢蔵氏を議長に推して「長屋選手をはげます会」の結成総会にうつり、会長に深沢雪夫氏、副会長に児玉郁、金沢両氏を選び、これまでの長屋選手の居住町内にあった後援組織を全町的に拡大して、郷土からはじめて世界にはばたく長屋選手を力強く支援していくことになりました。

☆

日本の女子スケート界の代表は「短距離は長屋、長距離は菅原」ということで二月二十三、四日にオランダでひらく女子スピードスケート世界選手権大会に出場する足寄町南六区の菅原真理子さん（帯広大谷高校三年）を激励する会は、足寄町スケート連盟（加藤伊三郎会長）の主催で九日に公民館でひらきました。

はじめに加藤会長から菅原選手の紹介とあいさつがあって、富田助役、郷スポーツ振興審議会代表、岡教育長からそれぞれ激励のことばがあり、片野足中校長の乾杯発声で祝宴に入り、東出選手についで世界のヒノキ舞台で活躍する菅原選手をかこんで歓談のあと、町、町教委、体育協会、スキー連盟からそれぞれせん別をおくりました。

町有林の現況調査

陸別町議会

陸別町議会の総務常任委員会（佐々木茂雄委員長）では所管事務調査として、さきほど議会活動の参考に町有林の現状を調査して議会に報告しましたが、その主な内容はつぎのとおり。

一、上利別団地

町、王子造林株式会社、森林開発公団の三者契約により四十七年度から五十三年度までを植栽予定期間として二八八㌶の造林計画をすすめている、収益分収の割合は町五〇％、公団四〇％、王子一〇％になっている、四十九年度植栽予定地の準備地拵え中だが造林支障木の伐倒がみうけられるので財務規則にもとずき適切な措置を講ずるよう注意した

二、弥生団地

三十四年から四十六年までに植栽ずみ面積は二一八㌶で、団地面積の九五％および植栽計画は完了している、活着の程度は標準的で着実に蓄積がふえているこんごは撫育事業が主体なので適期に適切な作業をおこなって資産の造成を期待する

三、関団地

旧国有保安林で、植栽したトドマツの林令が三十九年であり、その他林令十五年、二十二年、二十三年のカラマツ造林地がある、四十六年にカラマツの間伐が実行されている、二次間伐は林相上から無理と思われるが、もし実行するにあたっては風衝、立地条件、林相等をよく勘案することを望みたい

四、釧北団地

四十七年十二年二日議決にかかわる処分立木は伐採がおわり、集材も一部ありの残余の天然林は約四二㌶で非常に稀少価値のある財産となった、本年度事業では補植一四㌶八八のほか下刈一二五㌶三、つる切り除伐二七㌶六四の撫育事業が実行されており施業状況は良好であると思えた、人工林面積は二六一㌶で当町内団地のなかで最大面積であるから、弥生団地同様に適期に適切な作業をおこなって資産造成にあたるよう期待する

建設状況も報告

建設常任委員会（赤川周一郎委員長）でも、十二月三日に現在施工中の土木、建築事業の状況を調査して報告しましたが、その要点はつぎのとおり。

一、共和地区一般団体営農道整備事業（陸栄建設工業請負）

工期内完了とみなされる融雪期において盛土ノリ面の崩壊の県念について一応除去されたが、万一に備えて業者から確約を得るよう望みたい

二、中陸別原野線道路改良工事（陸別建設請負）

岡田の沢にかかる暗きょ工の融雪期の疑問については、ボックス型にし勾配もつけてあるのでその県念はないという説明である

三、桂あん橋架換工事下部工（石橋建設請負）

ここにおいても共和地区農道と同じ問題が腹蔵されるが、今年は資材その他の事情を勘案すると止むを得なかったものと思われる、本委員会としては凍結期に入らないうちに工事が完了する工期を望みたい

四、火葬場新築工事（小島建設請負）

従来の火葬場の観念を打破した立派な施設で満足できる仕上りである

五、要望意見

1、陸小教員住宅区域の排水については全体的な排水計画をもつて環境衛生の保全と住宅地盤に影響をおよぼさないようにされたい

2、道々と通学道路とを結ぶ区間の舗装を考慮されたい

3、数員住宅地内に砂利敷を考慮されたい

4、火葬場の駐車場が充分でないので、施設前庭部分の道路側溝を暗きょにして前庭の活用度を高められたい

5、墓参道路入口の勾配緩和をはかられたい

6、施設を管理する所管課において周囲の環境整備をはかられたい

六、総括

本年度の土木、建築工事その他施設の維持管理についても課員一同の仕事にたいする熱意がみうけられ、特に資材の高騰、入手難、労働力の不足等の事態にあつて問題点を克服し、ほとんどの工事を工期内に完成させている努力を高く評価したい、つぎに町道用地の取得整理状況は、用地台帳が不完全で分割測量はもとより渉外事務も多く登記事務は権利関係が複雑を極めるなど予想外の事務量を包蔵しているから現状の執行体制では未整理が累増してゆくのでこの件の解消に専従するものの存在が必要であることを確認した

足寄市街はずれに〝福祉村〟を建設

本年から着手

足寄市街はずれの美盛地区に老人対策と母子家庭対策をふくめた福祉施設を集中させた、十勝管内ではじめての〝福祉村〟の建設がすすめられています。

これは寝たきり老人のための特別養護老人ホームを中心に脳卒中後遺症などのリハビリテーション、町営老人住宅、町営母子家庭住宅、老人運動公園、児童公園などを設けて、市街地を離れた静かな環境で老人に長生きをしてもらい、できれば母子家庭の主婦にすぐそばの老人ホームなどで勤務してもらう計画で、本年は五十名収容の特養ホームを建設することにしています。

道の意向としては管内には特養老人ホームがすくないので百名以上にふやしていく予定であり、各種の福祉住宅の増設もみこみ、町土地開発公社では四㌶（一万二千坪）の用地を確保しています。

白ろう病対策を具体化

38名の認定へ

白ろう病対策にとりくんでいる足寄町では、新春の八日にさきに道林業労働者災害防止協会の協力を得て北大、釧路労災病院、職業病研究センターから七名の医師団を招いて検診をおこなった結果、白ろう病に罹患していて要治療者との通告をうけた三十八名を呼んでこんごの対策を協議しました。

この日は道林災協から富田安全管理士も来町して相談にあたりましたが、町内の受診者五十六名のうち約七割が罹患しているという厳しい実態をみせつけられたわけで、こんごの措置としては、罹患者が町立病院で診断をうけて治療をうけること、その診断書によって帯広労働基準監督署で職業病の認定をうけること、それによって労基署から治療費は病院に支払われるとともに本人は平均賃金の六割の休業補償をうけることになります。

問題はこれからで、町としてはこのたびの作業は足寄と喜登牛の山林労務者協議会やチェンソー販売店の協力によって百七十八名の専業従事者をつきとめて案内したものの受診に参加したのはわずかに五十六名だったことは、それだけ生活に追われて余裕がなく白ろう病とわかれば雇ってもらえないという不安もあり、チェンソーの使用は一日二時間ぐらいが限度とされているのにムリをしているのが実情で、刈払い機をふくめて要検診者は三百名はいるものとみられるので、町の基幹産業の労働力を確保するためになんとかチェンソーや刈払い機の使用者をもれなく把握すること、検診をうけるために釧路や札幌へゆかなくても地元で診断できるように町立病院に白ろう病検診器具（百五十万円くらい）などを備えて労災病院化することが先決で、さらに治療は電気マッサージや温泉療法が主となるので、町内にある雌阿寒温泉や芽登温泉に認定患者を収容するようにしてはどうかとの案も出ており、道内ではもっとも職業病にとりくんでいる町として評価されているだけにこんごの施策が期待されています

「松の湯」の移転を陳情

足寄町中央二区、四区の自治会では、暮の町議会に駅通りの「松の湯」（布施延司氏経営）の建物の移転撤去を陳情し、町議会では建設委員会（鳴海一郎委員長）に調査を付託しました

これは市街の中心商店街にあたる三笠通りの仲通りが「松の湯」と駅通りの店舗によってふさがれて、舗装化もできず、車も通れず通りの発展が妨げられているので、町の行政措置で移転をはかってほしいというもので、布施氏の方ではこの自治会の意向をうけ入れて移転を諒承しており、駅通りの店舗の方も借家希望者があるものの一端貸してしまえば移転の場合は転倒なので、敢えて繁華街の店舗を空家のままにしています。

当然、道路用地と思われるこの地帯は高橋安蔵氏からの借地で、大正時代ならそれでよかったとしても、いまとなっては無計画な宅地割だったわけで、都市計画指定の町として、陳情がなくてもいずれにしても放任できない問題となっています。

フアミリーランド
足寄グリーンパーク
お家族連れで楽しいくつろぎ！
レストラン　舞台付大広間　大浴場　大駐車場
御婚礼に
慰安会に
御宴会に
諸会合に
御宿泊に
足寄町里見ケ丘
足寄高原観光株式会社
電話3175・3176番

春物衣料
が各産地から続々と入荷いたしておりますので御光来、御用命下さい。
物価高に負けないよう足で集めて参りましたので価格も安く、また形も流行品ですので、御満足を得られることと存じますのでお早目に春をお買い下さい。お待ち申し上げます。
株式会社　前田呉服店
足寄町駅前商店街　T二〇二三

家具と建材
信用は最大のサービス
技術と納期を誇る！
家具　建具　製造販売
住宅内装に新建材を！
佐藤家具建材店
足寄駅前　電話二二二一番

不動産についての御相談は
調査　売買　あっせん　管理　分譲
代行　登記　損害保険　代理まで
同和、興和火災保険代理店
北海道免許十26
足寄不動産事務所
足寄町本通り三丁目　T二三四五